

〈鹿児島県開催競技〉

期日	競技種目	競技会場
7/27	総合開会式	鹿児島アリーナ(鹿児島市)
7/30-8/2	体操競技※	
8/5-7	新体操※	
8/15-20	卓球※	牧園アリーナ(霧島市)
8/9-13	柔道	
7/26-30	フェンシング※	牧園アリーナ(霧島市)
7/27-8/2	バスケットボール※	サンアリーナせんだい(薩摩川内市) いちぎ串木野市総合体育館 吉田文化体育センター(鹿児島市)
8/2-6	カヌー※	菱刈カヌー競技場(伊佐市)

※初日は開会式のみ。なお、種目によっては競技会場と開会式会場が異なるため、詳しくは下記サイトをご覧ください。

〈他県開催競技〉

県名	競技種目
熊本	水泳(競泳)・ハンドボール・バドミントン・ボート・剣道・レスリング・アーチェリー
宮崎	バレーボール・ソフトテニス・ソフトボール・弓道・テニス・登山・ボクシング・ホッケー・少林寺拳法
沖縄	陸上競技・水泳(飛込・水球)・サッカー・相撲・自転車競技・ウエイトリフティング・空手道・なぎなた
和歌山	ヨット

高校総体の最新情報はコチラ! 南部九州総体
<https://www.koukousoutai.com/2019soutai/>



今年度出場する出水商業高校弓道部



昨年度大会総合開会式(於:三重県)
写真提供:株式会社P&P浜松



昨年度優勝した鹿児島南高校弓道部
写真提供:株式会社P&P浜松



昨年度優勝した荒竹選手とチームメイト



鹿屋工業高校ボクシング部 荒竹選手

スポーツかごしま

今年はインターハイ、来年はかごしま国体・かごしま大会と、スポーツのビッグイベントが続くかごしま。スポーツを「する」「みる」「ささえる」をテーマに県内各地のさまざまな活動をシリーズで紹介します。

VOL.02 スポーツをする

インターハイ開幕目前! 高校生の熱い戦いが始まる

全国の強豪たちが南部九州に集結

令和初の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)感動は無限定南部九州総体2019が7月24日~8月20日、鹿児島県宮崎など5県で開催されます。総勢3万7千人が参加する高校生スポーツ最大の祭典で、本県代表選手の活躍が期待されています。

本県では、昭和57年以来、37年ぶりの開催。総合開会式のほか、体操や卓球など6競技7種目が実施されます。鹿児島県高等学校体育連盟の山元晃一理事長は「選手たちは日頃の實力を存分に発揮してほしい。大会が、若者だけでなく県全体でスポーツへの関心が広まる好機になれば」と期待します。そこで今回は、昨年度全国優勝した本県のボクシングと弓道(女子団体)に注目し、今年度の出場選手に抱負を聞きました。

頂点を目指す本県選手

昨年度大会で優勝した鹿屋工業高校ボクシング部の荒竹一真選手は、日頃の体調管理と圧倒的な練習量が強さの秘訣で、連覇を目標に掲げつつ、「自分に負けない気持ちを持ち、挑戦者のつもりで伸び伸びと自分の力を出し切る」と意気込みを語ります。顧問の田木博文先生も「誰よりもスタミナがあり、最後まで攻め続けられるのが強み」と期待。

団体戦では、昨年度の総合4位以上の成績を目指し、周囲からの応援を力に練習に励んでいます。



荒竹選手(左)と田木顧問

多くの高校生が支える青春の一幕

選手だけでなく、県内の3千人を超える高校生が、県内外から訪れる多くの方々を迎えるため、運営や企画を頑張っています。ぜひ会場に足を運んで、高校生たちの熱い夏を応援してください。



県高校生活動推進委員の皆さん

鹿児島 ヒロイン伝



橋本 隆志さん
第3回世界弓道大会 優勝
1991年鹿児島市生まれ

日本代表として大会出場 団体優勝の原動力に

鹿児島県は伝統的に武道が盛んで、弓道もその実力は全国トップクラス。橋本さんは各種大会で輝かしい成績を残しており、特に平成30年に開催された第3回世界弓道大会では日本代表の一員として出場し、団体優勝の原動力となりました。最近では若い選手の成長が著しい中、橋本さんがその中心的な存在となっています。

本県の弓道は、戦国期の島津家当主家久が本郷義則に師事したことには始まります。薩摩日置流として現代まで受け継がれ、世界的にも知られています。

次号の特集は
〈スポーツをささえる〉
みんなで広げる
障害者スポーツ